

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2021-527007

(P2021-527007A)

(43) 公表日 令和3年10月11日 (2021. 10. 11)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 5/465 (2006.01)	B 6 5 D 5/465	3 E 0 6 0
B 6 5 D 71/00 (2006.01)	B 6 5 D 71/00	3 E 0 6 7
B 6 5 D 71/28 (2006.01)	B 6 5 D 71/28	

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 25 頁)

(21) 出願番号	特願2020-569725 (P2020-569725)	(71) 出願人	506385140 アンハイザー・ブッシュ・インベヴ・ソシ エテ・アノニム Anheuser-Busch InBev S. A. ベルギー1000ブリュッセル、グラン ブラス1番
(86) (22) 出願日	令和1年6月17日 (2019. 6. 17)	(74) 代理人	100169904 弁理士 村井 康司
(85) 翻訳文提出日	令和3年2月5日 (2021. 2. 5)	(74) 代理人	100139549 弁理士 原田 泉
(86) 国際出願番号	PCT/EP2019/065915	(72) 発明者	キーナン トンプソン ベルギー, 3000 ルーヴェン, ブロー ウェレイプラン 1
(87) 国際公開番号	W02019/238977		
(87) 国際公開日	令和1年12月19日 (2019. 12. 19)		
(31) 優先権主張番号	2018/5408		
(32) 優先日	平成30年6月15日 (2018. 6. 15)		
(33) 優先権主張国・地域又は機関	ベルギー (BE)		
(31) 優先権主張番号	62/685, 754		
(32) 優先日	平成30年6月15日 (2018. 6. 15)		
(33) 優先権主張国・地域又は機関	米国 (US)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 持ち運び用ハンドルアセンブリ

(57) 【要約】

本開示は、1つまたは複数の二次パッケージ280と共に使用するための持ち運び用ハンドルアセンブリ200を提供する。ハンドルアセンブリはベース部210を含む。ベース部は近位端に第1のハンドルポケット212を含み、遠位端の第2のハンドルポケット214に向かって延びる。各ハンドルポケットは、内側開口部215aおよび外側開口部215bを有する凹部215を含む。ハンドルアセンブリは、近位端の第1の包囲部224および遠位端の第2の包囲部226に向かって延びる把持部222を有するハンドル220をさらに含む。各包囲部はハンドルポケットの少なくとも1つの凹部内に収容され、その中でスライド可能にクランプされる。使用時、ユーザーが把持部を持ち上げてハンドルを握ると、包囲部の少なくとも1つがスライドしてロック状態になり後方に移動する。

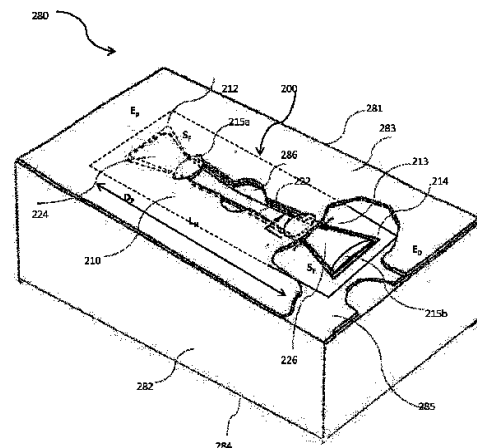


Fig. 2a

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

近位端に第 1 のハンドルポケットを備え、遠位端にある第 2 のハンドルポケットに向かって延びるベース部であって、各ポケットは外側開口部および内側開口部を有する凹部を備える、ベース部と、

近位端の第 1 の包囲部および遠位端の第 2 の包囲部に向かって延びる把持部を備えるハンドルと、

を備えるハンドルアセンブリであって、

各包囲部は、把持部が持ち上げられると、少なくとも 1 つの包囲部がスライドしてロック状態になり、把持部が解放され引き戻されると自由状態に戻るように、少なくとも 1 つのハンドルポケット内にスライド可能にロックされ、

各ポケットは全体的に V 字形の中空ポケットであり、各包囲部は全体的に V 字形であり、V 字形のハンドルポケットと幾何学的に類似しており、それによって V 字形のハンドルポケットの脚部は、前記ベース部の長手軸に対して、 15° 、好ましくは 20° の最小角度、および 60° の最大角度の向きを有することを特徴とする、ハンドルアセンブリ。

【請求項 2】

前記ベース部は、すべての種類の紙、ボール紙、カートン、ファイバーボード、段ボール、プラスチック、金属などから非限定的に選択される材料からなる、全体が単層 / 多層の細長片である、

請求項 1 に記載のハンドルアセンブリ。

【請求項 3】

各ポケットは、前記ハンドルの長さよりも大きい間隔で前記ベース部に固定される、請求項 1 または 2 に記載のハンドルアセンブリ。

【請求項 4】

前記ベース部は、近位端側において第 1 のハンドルポケットと近位端自体との間に配置された二重折り畳み部分と、および / または、遠位端側において第 2 のハンドルポケットと遠位端自体との間に配置された二重折り畳み部分とを備え、

前記二重折り畳み部分は、前記ベース部の長手軸にほぼ直交する折り目を備え、それにより、重なり合う Z 字形の二重折り畳み部分を形成する、

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のハンドルアセンブリ。

【請求項 5】

前記二重折り畳み部分の少なくとも 1 つの、好ましくはすべての重なり合うゾーンが、接着剤または固定手段を介して互いに解放可能に相互接続されている、請求項 4 に記載のハンドルアセンブリ。

【請求項 6】

各ポケットは、その中に凹部が形成されるように材料の一部を折り畳み、接着することによって形成される、

請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のハンドルアセンブリ。

【請求項 7】

材料片は、すべての種類の紙、ボール紙、カートン、ファイバーボード、段ボール、プラスチックなどのうちの 1 つまたは複数から非限定的に選択される、

請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のハンドルアセンブリ。

【請求項 8】

各ポケットは、前記ベース部内の 2 つのフラップを切り出し、その中に凹部が形成されるように 2 つのフラップを折り畳み、接着することによって形成される、

請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のハンドルアセンブリ。

【請求項 9】

各中空ポケットは、前記ハンドルの包囲部のそれぞれの最小幅よりも大きい最小幅および最大幅よりも大きい最大幅を有する、

請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載のハンドルアセンブリ。

【請求項 1 0】

前記ハンドルは、すべての種類の紙、ボール紙、カートン、ファイバーボード、段ボール、プラスチックなどから非限定的に選択される材料でつくられている、
請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載のハンドルアセンブリ。

【請求項 1 1】

所定の位置を超える前記包囲部を前記ベース部上にロックするためのロック機構をさらに備える、
請求項 1 から 1 0 のいずれか一項に記載のハンドルアセンブリ。

【請求項 1 2】

前記ロック機構は、前記包囲部内に切り欠きと、前記ベース部に形成されたロックフックとを備える、
請求項 1 1 に記載のハンドルアセンブリ。

【請求項 1 3】

近位端にハンドルポケットを備え、遠位端に向かって延びるベース部であって、前記ポケットは凹部を備える、ベース部と、

近位端側の包囲部と遠位端の固定部に向かって延びる把持部を備えるハンドルと、
を備えるハンドルアセンブリであって、

包囲部は、把持部が持ち上げられると、包囲部がスライドしてロック状態になり、把持部が解放され引き戻されると自由状態に戻るように、ハンドルポケット内でスライド可能にロックされる、
ハンドルアセンブリ。

【請求項 1 4】

請求項 1 から 1 3 のいずれか一項に記載の、二次パッケージ用のハンドルアセンブリを備える二次パッケージであって、

複数の壁を備え、その壁の 1 つに凹んだ溝部を少なくとも有し、

前記ハンドルアセンブリは、前記ハンドルの把持部が凹んだ溝部を通してアクセス可能であり、さらに、把持部が持ち上げられると包囲部の少なくとも 1 つがスライドしてロック状態になり、把持部が解放されて引き戻されると自由状態に戻るように、凹んだ溝部を備える壁の内面に配置される、
二次パッケージ。

【請求項 1 5】

折り畳み可能なブランク、板紙、ボール紙、段ボール、プラスチック、すべての種類の紙などから非限定的に選択される 1 つまたは複数の材料で形成されたカートンを備える、
請求項 1 4 に記載の二次パッケージ。

【請求項 1 6】

前記ハンドルアセンブリは、接着、接着パッチ、保持タブ、ステーブル、リベットなどのうちの 1 つまたは複数から非限定的に選択される固定機構を使用して、二次パッケージの壁の内面に固定される、
請求項 1 5 に記載の二次パッケージ。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0 0 0 1】

本開示は、概して、ハンドルアセンブリに関し、特に二次パッケージで使用するための持ち運び用のハンドルアセンブリに関する。

【背景技術】

【0 0 0 2】

近年、大量販売、簡易な輸送や取り扱いなどを可能にするなど、さまざまな目的で流動食等の食品、家庭用品、文房具など多数の商品をマルチパック化してまとめる傾向が倍増

10

20

30

40

50

している。例えば、1人分の容器（缶やボトルなど）は、通常、消費者に販売するために6個または12個のグループにパッケージ化される。さらに、さまざまな理由から、さまざまな製品が1つの二次パッケージにまとめて包装される。

【0003】

マルチパックやその他の二次パッケージなど、通常、板紙および/またはボール紙および/またはプラスチック材料でできたパッケージ用に多くの運搬機構が開発されてきた。コストと環境への配慮から、このようなパッケージはできるだけ少ない材料で形成し、これらを形成する材料の無駄をできるだけ少なくする必要がある。したがって、個々の容器または製品をまとめて包装することに大きな変化があり、それは消費者にも非常に望まれていると結論付けることができる。

10

【0004】

これらの二次パッケージを便利に運ぶために、様々なタイプのハンドグリップが知られている。例えば、パッケージを運ぶことを容易にするために手で握る開口を設けることが知られている。しかしながら、そのように手で握る孔は快適ではなく、また、パッケージを保持するために両手を使用する必要があるため、好ましくない。さらに、いくつかの例では、取っ手孔を有する収縮性フィルムがパッケージの周りに巻き付けられたものがある。そのような収縮性フィルム内の取っ手孔は、パッケージをつかんで持ち上げるために利用された。しかしながら、そのような収縮性フィルムベースのハンドルには、容器に巻き付けられているため、パッケージを開封するために引き裂かなければならず、よってパッケージを開封すると使用できないなどのいくつかの欠点がある。さらに、これらは軽量フィルムでできているため、パッケージの重量のために破損しやすく、引き裂かれやすいため、好ましくなかった。

20

【0005】

したがって、使いやすく、パッケージの内容物の負荷に耐えるのに十分な強度のある持ち運び用ハンドルを提供することが望まれた。

【0006】

いくつかの例では、一体型ハンドルを備えたパッケージが提供された。かかるパッケージの1つが米国特許第2868433号明細書に開示されている。同特許は、容器と、格納された内容物とを運ぶために2層の板紙で形成された一体型ハンドルを備えた容器を開示する。ただし、このようなパッケージにはいくつかの欠点があった。欠点の1つは、ハンドルの材料の厚みが2倍になるため、より多くのパッケージ用材料を使用する必要があることである。さらに、これらのカートの厚さは一定ではないため、保管、出荷、および陳列のために積み重ねると不安定になる可能性がある。

30

【0007】

他のいくつかの開発では、ストラップおよび/またはテープベースの持ち運び用ハンドルを備えたマルチパックが提供された。例えば、国際公開第96/27538号は、いずれかの端部がカートの側壁に接合されているストラップハンドルを有するカートを開示している。ただし、ハンドルを展開すると、カートに含まれる負荷がこれらの接合部に伝達されるため、これらのハンドルは重い容器の運搬には適していなかった。接合部へのそのような負荷により、ハンドルがカートから分離することにより、頻繁に破損する傾向がある。

40

【0008】

さらに他の例では、プラスチック製のハンドルがマルチパックの上端に外部から接着されていた。このようなプラスチック製のハンドルは、パッケージに適した持ち運び用ハンドルを提供するが、これらのハンドルは外部に取り付けられた別体のコンポーネントであり、重い負荷がかかると破損しやすく、実際に輸送中に取付点でちぎれやすかった。さらに、これら外部に取り付け可能なハンドルを含むハンドルは全て、これらの外部ハンドルの存在により、パッケージの積み重ねおよび/またはパレットへの積み載せができなかったという別の欠点があった。

【0009】

50

そのため、最近では、パッケージの内側からパッケージに取り付け／接続され、使用しないときはパッケージ内にとどまるため輸送中に破損しないハンドルを提供することにより、上記の問題を克服するハンドル機構をつくるために多くの努力が払われてきた。

【 0 0 1 0 】

例えば、米国特許第 4 9 0 5 8 8 8 号明細書は、パッケージの壁に一体化されたハンドルを開示している。ハンドルは、壁の穴あき切取線によって形成された形状を有する。特に、ハンドルは、壁の内面およびハンドルの内面に取り付けられたキャリングテープによって壁に取り付けられている。かかる持ち運び用ハンドルはさらに、壁の内面に取り付けられた端部分とハンドルに取り付けられたキャリングテープの中央部分との間に形成された、自由に動くストラップタイプの折り畳み可能なテープ部分を提供する。

10

【 0 0 1 1 】

米国特許出願公開第 2 0 0 8 / 0 0 1 0 9 4 5 号明細書、フロントパネル、バックパネル、ボトムパネル、および各々が内壁および外壁を有する対向するサイドガセットを有する注入可能なパッケージ用のハンドルアセンブリを開示している。ハンドルアセンブリは、1つまたは複数のハンド部を含み、各ハンド部は、開口部を越えてサイドガセットの内壁に沿って延びるタブを有する。ハンドルアセンブリは、サイドガセットの内壁上および開口部の周囲に配置されたシール部材をさらに含み、シール部材は、タブをサイドガセットの内壁にシールし、開口部を密封する。かかるハンドルアセンブリは、部分的にサイドガセットの開口部内に配置され、部分的に開口部を超えて配置される。

20

【 0 0 1 2 】

米国特許出願公開第 2 0 1 5 / 0 1 0 8 1 5 3 号明細書は、底壁、対向する側壁、および対向する端壁を有するカートンの各端壁の内面に固定された持ち運び用ハンドルを開示している。持ち運び用ハンドルは、カートンの内側に収納位置があり、カートンを持ち上げて運ぶためにカートンの外側に拡張位置がある。カートンは、持ち運び用ハンドルを収納位置に収容し、持ち運び用ハンドルとカートン内の紙との接触を防ぐために、それぞれの持ち運び用ハンドルと位置を合わせたレジストリに切り欠きを有するスペーサーパネルを含む。

【 発明の概要 】

【 発明が解決しようとする課題 】

【 0 0 1 3 】

30

したがって、上記の例からもわかるように、現在および最近では、パッケージを便利に保持するために、パッケージの壁内に取り付けられ、パッケージ内の開口部を通してアクセス可能なハンドグリップを含むハンドルが提供される。しかしながら、そのようなハンドルには、接続されている壁に大きな圧力を与えるため、一般に紙でできている軽量の壁を破りやすいなどのいくつかの欠点がある。さらに、それらのほとんどは、大きい負荷に対して把持部を回避および保護するための機構を持たないため、非常に軽量なものにのみ適用可能である。さらに、これらのハンドルは取り付けが非常に複雑であるため、一般消費者が使用するのは困難である。

【 0 0 1 4 】

40

したがって、上記のように、二次パッケージのために様々な種類のハンドルが開発されてきた。これらのハンドル構造には、ストラップ状の部材、箱の壁の1つに接合された一体型の板紙ハンドル部材、パッケージの内側に取り付けられた別体のハンドル部材など、さまざまな種類のハンドルがある。しかし、このようなハンドル構造にはすべて、いくつかの欠点がある。さらに、これらのハンドル構造は、特に重量のある内容物がパッケージ／カートン内で運ばれる場合、本質的に不十分である一方で、カートン／パッケージのコストを大幅に増加させる。

【 0 0 1 5 】

前述から分かるように、費用効果が高く、快適で、丈夫でありながら、一般消費者が使いやすい二次パッケージのハンドル構造を改善する必要性が依然として存在する。

【 課題を解決するための手段 】

50

【 0 0 1 6 】

本開示の一態様では、持ち運び用のハンドルアセンブリが提供される。ハンドルアセンブリは、ベース部を含む。ベース部は、近位端に第1のハンドルポケットを含み、遠位端の第2のハンドルポケットに向かって延びる。ハンドルポケットはそれぞれ、内側開口部および外側開口部を有する（水平な）凹部を含む。ハンドルアセンブリは、近位端の第1の包囲部に向かって、および遠位端の第2の包囲部に向かって延びる把持部を有するハンドルをさらに含む。各包囲部は、少なくとも1つのハンドルポケットの凹部内に収容され、その中でスライド可能にクランプされる。使用時に、ユーザーが把持部を持ち上げてハンドルを握ると、少なくとも1つの包囲部がスライドしてロック状態になり、把持部が解放されて引き戻されると自由状態に戻る。

10

【 0 0 1 7 】

ハンドルポケットの凹部は、全体的に、ベース部上の限られた高さの「平坦」または「水平」な溝であり、特に緩和位置では、概してベース部に平行な方向に延びる。

【 0 0 1 8 】

好ましくは、ベース部は、限定されるわけではないが、すべての種類の紙、ボール紙、カートン、繊維板、段ボール、プラスチックなどから選択される、全体的に細長い材料片である。いくつかの実施形態では、ベース部は、アルミニウムなどの金属を含む、あるいは金属により構成されてもよい。金属の薄いシートの高い強度と軽量を考えると、ベース部はユーザーから完全に保護されるため、この点特に有利であり得る。

20

【 0 0 1 9 】

さらに好ましくは、ベース部は単層構造である。

【 0 0 2 0 】

あるいは、ベース部は、多層構造であってもよい。

【 0 0 2 1 】

また、第1のポケットおよび第2のポケットはそれぞれ、全体的にV字形の中空ポケットであってもよい。

【 0 0 2 2 】

さらに、第1のポケットおよび第2のポケットはそれぞれ、中に凹部が形成されるように、材料の一部を折り畳み、接着することによって形成されてもよい。

【 0 0 2 3 】

さらに、材料片は、限定されるわけではないが、すべての種類の紙、ボール紙、カートン、ファイバーボード、段ボール、金属（アルミニウムなど）などから選択した材料から形成される単層または多層構造であってもよい。

30

【 0 0 2 4 】

さらに、各ポケットは、限定されるわけではないが、接着、パンチング、ステーブルなどから選択された1つまたは複数の固定機構を使用してベース部に取り付けられてもよい。

【 0 0 2 5 】

第1のポケットは、第2のポケットから間隔 D_p を空けてベース部に取り付けることも実現可能である。

40

【 0 0 2 6 】

さらに、間隔 D_p は、おおよそ、ハンドルの長さ L_H 以上とすることも実現可能である。

【 0 0 2 7 】

好ましくは、第1のポケットおよび第2のポケットはそれぞれ、ベース部内の2つのフラップを切り出し、2つのフラップを折り曲げて接着することによって、その中に凹部が形成されるように形成される。

【 0 0 2 8 】

さらに好ましくは、2つのフラップは、一緒に折り畳まれたときに十分な重なりがあるように切り出される。

50

【 0 0 2 9 】

概して、第 1 のポケットおよび第 2 のポケットはそれぞれ、ハンドルの包囲部のそれぞれの最小幅よりも大きい最小幅および最大幅よりも大きい最大幅を有する。

【 0 0 3 0 】

さらに、包囲部はそれぞれ、全体的に V 字形であり、対応するハンドルポケットの凹部内に完全に適合するような寸法である。

【 0 0 3 1 】

好ましくは、ハンドルは、限定されるわけではないが、すべての種類の紙、ボール紙、カートン、ファイバーボード、段ボール、プラスチックなどの単層または多層構造から選択された任意の材料でつくることができる。いくつかの実施形態では、ベース部は、アルミニウムなどの金属を含む、または金属から構成されてもよい。金属の薄いシートの高い強度と軽量を考えると、これは特に有利であり得る。

10

【 0 0 3 2 】

さらに好ましくは、把持部は、ユーザーによって取り扱いを容易にするつまみを含んでいてもよい。

【 0 0 3 3 】

任意の選択として、ハンドルアセンブリは、ベース部上の所定の位置を超えるハンドルの動きを制限するためのロック機構をさらに含む。

【 0 0 3 4 】

さらに任意の選択として、ロック機構は、ハンドルアセンブリの第 1 のポケットおよび第 2 のポケットのそれぞれの中に配置されてもよい。

20

【 0 0 3 5 】

さらに任意の選択として、ロック機構は、把持部の両端にある切り欠きと、相補的なフックであってフックの位置を超えた把持部の動きをロックするためのフックとを含む。

【 0 0 3 6 】

あるいは、ロック機構は、限定されるわけではないが、リベット、糸、ボタン、保持タブ、および他の任意の適切な機械的ロック手段を含むなど、当該技術分野で知られている任意の適切なロック機構であってもよい。

【 0 0 3 7 】

別の態様では、近位端にハンドルポケットを備え、遠位端に向かって延びるベース部であって、前記ポケットが凹部を備えるベース部と、近位端の包囲部と遠位端の固定部に向かって延びる把持部を備えるハンドルと、を備えるハンドルアセンブリであって、包囲部は、把持部が持ち上げられると、包囲部がスライドしてロック状態になり、把持部が解放されて引き戻されると自由状態に戻るように、ハンドルポケット内でスライド可能にロックされる、ハンドルアセンブリを提供することができる。

30

【 0 0 3 8 】

本発明の別の態様では、持ち運び用のハンドルアセンブリを有する二次パッケージが提供される。二次パッケージは、概して、中に内面を形成する上壁、底壁、および複数の側壁を含む複数の壁を有するカートンである。パッケージはさらに、複数の壁のうちの少なくとも 1 つに形成された 1 つまたは複数のハンドル開口部 / 細長い溝部を含む。二次パッケージはさらに、パッケージを安全かつ快適に把持および / または持ち運ぶために、内面に配置され、1 つまたは複数のハンドル開口部 / 細長い溝部を通して視覚的にアクセス可能な 1 つまたは複数のハンドルアセンブリを含む。ハンドルアセンブリは、ハンドルの把持部が凹んだ溝部を通してアクセス可能なように、二次パッケージ内に配置される。使用時、ユーザーがハンドルをつかんでパッケージを持ち上げると、把持部は細長い溝部からスライドして外に伸び、ユーザーによって解放されると引き戻される。

40

【 0 0 3 9 】

概して、二次パッケージは、限定されるわけではないが、板紙、ボール紙、プラスチック、紙、ハイブリッド材料、およびこれらの任意の組み合わせから選択される材料で形成されたカートンである。

50

【 0 0 4 0 】

二次パッケージは、立方形状、立方体、球形、円形などの任意の適切な幾何学的形状であってもよい。

【 0 0 4 1 】

したがって、自由状態では、把持部は、パッケージ内にとどまり、パッケージを通して視覚的にアクセス可能である。

【 0 0 4 2 】

さらに、持ち上げられた状態では、把持部は、パッケージを持ち上げる際にユーザーによって加えられる力により、パッケージの壁から外に伸びる。

【 0 0 4 3 】

本発明の双方の態様に関して好ましい実施形態は、近位端側にあつて、第1のハンドルポケットと近位端自体との間に配置された二重折り畳み部分を備え、および/または遠位端側にあつて、第2のハンドルポケットと遠位端自体との間に配置された二重折り畳み部分を備える、ベース部を提供する。二重折り畳み部分は、ベース部の長手軸にほぼ直交する折り目を備え、それにより、重なり合うZ字形の二重折り畳み部分を形成する。二重折り畳み部分はさらに、接着剤（接着剤、テープ、ペーストなど）を介して、1つまたは複数の点で、ただし好ましくは両方が重なり合うゾーンで互いに取り付けられるようにしてもよい。それにより、接着の程度は、二重折り畳み部分がハンドルにかかる強い力や急激な力の緩衝材として機能し、二重折り畳みの構成から解放されたときその力の一部を放散させハンドルポケットでの裂けを防ぐようにする。急激な力や強い力がかかると、取り付けが緩み、ベース部が二重折り畳みの構成を解除することによってベース部が長くなることにより、ポケットハンドルへの負担を軽減する。さらに、これにより、使用前に、ハンドルがベース部に対して平らになることによって二次パッケージ内/上にあるという意味で、ハンドルを「隠す」ことができる。ユーザーがパッケージを持ち上げたい場合は、ハンドルが伸びて自由になり、容易に持ち運びが可能な必要な長さになる。

【 0 0 4 4 】

好ましくは、ベース部は、近位端および/または遠位端側であつて、2つのハンドルポケットの間に配置される折り目をさらに備える。これらにより、ハンドルアセンブリは、使用時に近位端および/または遠位端が下向きに折り畳まれて容器の側壁に相対する場合、特に有用となる。

【 0 0 4 5 】

可能な実施形態では、二重折り畳み部分は、四つ折りにされてもよく、および/または2つまたはそれ以上の二重に折り畳まれたものが、ベース部の一端または両端側に設けられてもよい。

【 0 0 4 6 】

本発明のハンドルアセンブリの好ましい実施形態は、外側開口部よりも小さい寸法を有する内側開口部を備えたハンドルポケットを提供され（図も参照）、ハンドルの包囲部は、ポケットと（幾何学的に）同様の形状を有し、ハンドルポケット内に適合する。具体的には、ハンドルポケットは、少なくともハンドルポケットの最も外側にある部分で、好ましくはハンドルポケット全体にわたって、外側に向かって幅が広がる。これにより、持ち上げられたときのハンドルポケットにかかるハンドルの力が、ハンドルポケットの側縁部の向きとほぼ一致しないで、外側に分散させることができる。出願人は、ハンドルの力を前記側縁部と平行に走らないようにすることにより、ハンドルポケットがその力によく耐え、引き裂きを回避することを発見した力（力）は取り付け部のライン部分ではなく取り付け部の単一点にのみに集中するため、特に紙やボール紙の場合、平行にかかる力（力）ははるかに問題となること（こと）がわかる。本実施形態から得られる力の再分配は、紙やボール紙などの材料の比較的高い引張抵抗を利用して、これらの材料の引裂抵抗に対して、引き裂きの危険性を大幅に低減する。

【 0 0 4 7 】

好ましくは、ハンドルポケットは、ほぼ鋭角な台形、好ましくは等脚台形の凹部を有す

10

20

30

40

50

る。凹部は、実質的に、ハンドルポケットの突出構造がベース部に接続される側縁部によって形成される。したがって、各縁部の内側端と各縁部の外側端を接続すると、凹部は全体として四角形であるが、実際には、内側と外側の縁部がほぼ平行であるため、実質的に台形になる。

【0048】

特に好ましい実施形態では、ハンドルポケットは、（先端を切り取った）V字形または鋭角ノ等脚台形を有し、側縁部は、それらが配置されているそれぞれの端部に向かって外側に互いから分岐している。

【0049】

好ましくは、ハンドルポケットは、ベース部の長手軸に対して10°の最小外角の向きを有する（固定された）側縁部を有する。より好ましくは、最小外角は15°、あるいは20°である。いくつかの実施形態では、最小外角は、25°または30°であってもよい。

【0050】

好ましくは、ハンドルポケットは、ベース部の長手軸に対して60°の最大外角の向きを有する側縁部を有する。より好ましくは、最大外角は、55°、50°、45°、40°、さらには35°または30°である。

【0051】

上記の実施形態は、本文で論じられているように、ベース部からフラップを切り出してハンドルポケットをつくることによって製造するのに特に便利である。このように、ハンドルポケットの取り付けは、ベース部に直接取り付けられているため、ハンドルポケットをベース部に取り付ける接着剤（glue）や接着剤（adhesive）などの中間物がなくともより強力になる。

【0052】

さらに、これは切り出しフラップと組み合わせると大きな相乗効果がある。上記の外角が大きすぎると、フラップが互いに取り付けにくい、または小さな表面に取り付けにくくなる。しかし、ハンドルポケットにかかる力をより適切に分散させるため、高角度が望ましい。この観点から、上記の範囲は、フラップを互いに十分に固定し、力を良好に分散させるため、特に有利であることが明らかになった。

【0053】

好ましい実施形態では、ハンドルポケットがベース部に取り付けられている側縁部は、概して、平坦な状態でベース部の角を向いている。

【0054】

好ましい実施形態では、ハンドルポケットがベース部に取り付けられている側縁部は、それぞれ、3.0cm、好ましくは少なくとも4.0cm、より好ましくは少なくとも5.0cmの最小の長さを有する。

【0055】

特に好ましい実施形態では、ハンドルアセンブリのベース部は、その長手方向に直交し、好ましくは互いに近接して、近位端および／または遠位端（好ましくは双方）に2つ以上、好ましくは3つ、4つ、5つ以上の折り目を備え、ハンドルポケットは、それぞれの端部の折り目よりも外側に配置される。特に、かかる実施形態は、上面の寸法（ハンドルアセンブリが延びる方向においてという意味）がベース部よりも長く、特に折り目間の距離よりも長い、二次パッケージに適用されるハンドルアセンブリに適している。これらの特定の実施形態では、ベース部は、二次パッケージの上部に対して配置されるだけでなく、二次パッケージの1つまたは2つの（相対して配置された）側壁に対して折り畳まれ、それによってベース部を（接着剤、固定手段など）により前記上部および／または側壁へ取り付けることができる。この構成では、ハンドルポケットは、二次パッケージの側壁に対して配置されるベース部の部分に配置され、それによって、上壁と側壁間の（90°）角は、ハンドルを持ち上げるときに力の転移の障害を形成する。図9は、ハンドルアセンブリの特定の実施形態を示し、ここでは、側壁に対して折り畳まれるベース部の部分（左

10

20

30

40

50

端の点線 2 1 6 の左および右端の点線 2 1 6 の右)を示す仮想境界(点線 2 1 6)が提供され、点線間の部分は、二次パッケージの上部に対して配置される。上記の境界は、必ずしもベース部上で目に見えるものと理解されるわけではなく、単なるガイドとして機能するものである。既述した折り目 2 1 7 はまた、側壁に対して折り畳まれる(および取り付けられる)部分であって前記の最も外側の部分において見られる。二次パッケージの側壁から上部へより緩やかに移行する場合、境界は、二次パッケージに保持された容器の上部がベース部に隣接する部分を反映していると思なすことができる。

【0056】

さらに、折り目は、側壁に対して配置されたベース部の部分に設けられ、大きい力または圧力に直面したときにベース部が二次パッケージから完全に分離しないことを確実にするための追加のバックアップとして機能する。前述のように、二次パッケージの側壁に対して折りたたまれるベース部の外側部分は、接着剤またはその他の固定手段を介して前記側壁に取り付けられる。しかしながら、例えば過度のおよび/または非常に急激な力によって取り付け部が緩められた場合、固定が解消され、ハンドルポケットが配置されている外側部分が二次パッケージから引き裂かれる可能性がある。これは、「通常の」実施形態(ベース部が側壁に対して折り畳まれない)においてハンドルが伸びるパッケージの溝部を通してハンドルポケットが完全に引っ張られることになる可能性があるが、上記の実施形態はこの問題を創造的に克服する。第一に、ハンドルポケットは、二次パッケージの側壁と上部間の角に封鎖部を生じさせ、急激な/極端な力に打ち勝つことができる束になる。ただし、最も実用的なのは、ハンドルポケットと、側壁および上部間の角との間の折り目である。急に/強く引っ張ると、ベース部が折り目に沿って折り畳まれ、ハンドルポケットと角の間に(複数の)折り畳み部分が形成され、角で利用できる限られたスペースが「詰まる」または「束になる」。これにより、ベース部が側壁から完全に引き離されることがなくなり、ハンドルアセンブリの壊滅的な損壊を回避できる。さらに、いくつかの実施形態では、二次パッケージは、上部と側壁との間に丸い接触部を有する。かかる場合、境界(点線 2 1 6)は、二次パッケージの側壁および中に保持された容器の上部(一般に、保持された容器の上部の継ぎ目または縁)が互いに接触する領域を示す。この接触部において、二次パッケージと一次パッケージとの間のマージンが限られており、折り目 2 1 7 による収縮により、ハンドルポケットがすり抜ける前にベース部が詰まる。

【0057】

前記折り目の数は、それらの相互の向き、相互の間隔などと同様に、変更可能である。好ましくは、折り目は互いに適度に近接し、例えば、最大で 2.0 cm または 1.5 cm、好ましくは最大で 1.0 cm、あるいは 0.75 cm、または 0.6 cm、0.5 cm、0.4 cm 以下の間隔である。一実施形態では、折り目は、相互に平行であり、ベース部の長手軸(近位端から遠位端まで)にほぼ直交してもよい。あるいは、後続の折り目は平行ではなく、互いにわずかな角度、最大で 30°、好ましくは最大で 25°、より好ましくは最大で 20° または 15°、さらには最大で 10° または 5° で配されている。前記角度は、好ましくは少なくとも 1°、より好ましくは少なくとも 3°、さらには 5° である。

【0058】

本発明のさらに別の態様では、上記に開示されたようなハンドルアセンブリを有する二次パッケージを組み立てるための方法が提供される。この方法は、二次パッケージの取得および/または形成を含む。この方法は、例えば、飲料容器などの複数の製品を、二次パッケージの内面内に、所定の行および列構成に配置することをさらに含む。この方法は、把持部がハンドルの開口部/細長い溝部を通してアクセス可能であるように、二次パッケージ内にハンドルアセンブリを配置することをさらに含む。使用時、ユーザーがパッケージを持ち上げると、把持部が二次パッケージからスライドして外に伸び、それにより、包囲部、ハンドルポケット、ベース部、およびパッケージの対応する壁を利用してパッケージの負荷を支える。

【0059】

任意の選択として、方法の各ステップは、任意の所望の順序で実行され得る。

【0060】

さらに任意の選択として、この方法は、ハンドルアセンブリのベース部を、細長い溝部／ハンドルの開口部を有する壁の内面に固定するステップをさらに含む。

【0061】

あるいは、この方法は、二次パッケージ内のハンドルアセンブリのベース部を、中に配置された飲料容器などの製品の上部に支持することを含む。

【0062】

1つまたは複数の実施形態の詳細は、添付の図面および以下の説明に記載される。本明細書に開示される主題の他の態様、特徴および利点は、明細書、図面、および特許請求の範囲から明らかになるであろう。

10

【図面の簡単な説明】

【0063】

【図1】図1は、本開示の好ましい実施形態による、ハンドルアセンブリを表す概略図を示す。

【図2a】図2aは、本開示の第1実施形態による、自由状態のハンドルアセンブリを有する例示的なパッケージを表す概略図を示す。

【図2b】図2bは、本開示の実施形態による、ロック状態のハンドルアセンブリを有する例示的なパッケージを表す概略図を示す。

【図3a】図3aは、本開示の別の実施形態による、自由状態のハンドルアセンブリを有する例示的なパッケージを表す概略図を示す。

20

【図3b】図3bは、本開示の別の実施形態による、ロック状態のハンドルアセンブリを有する例示的なパッケージを表す概略図を示す。

【図4】図4は、本開示の好ましい実施形態による、ベース部に配置された一対のハンドルポケットの斜視図である。

【図5】図5は、本開示の好ましい実施形態による、ロック状態のハンドルアセンブリのハンドルの斜視図を示す。

【図6】図6は、本開示の一実施形態による、ハンドルアセンブリを組み立てるステップを示すフローチャートを示す。

【図7】図7は、本開示の一実施形態による、ハンドルアセンブリを二次パッケージに取り付けるためのステップを示すフローチャートを示す。

30

【図8】図8は、本開示のさらに別の実施形態による、例示的なハンドルアセンブリを表す概略図を示す。

【図9】図9は、本開示の別の実施形態によるハンドルアセンブリを表す概略図を示す。

【発明を実施するための形態】

【0064】

詳細な説明

必要に応じて、本出願の概略的な例示のみの実施形態が本明細書に開示される。しかしながら、開示された実施形態は、本開示の単なる例示であり、様々なおよび／または代替の形態で具体化され得ることを理解されるべきである。本明細書に開示される特定の構造および機能的詳細は、限定的に解釈されるべきではなく、単に特許請求の範囲の基礎として、および事実上任意の適切な詳細構造で本開示を多様に使用することを当業者に教えるための典型的な基礎として解釈されるべきである。

40

【0065】

本開示の例示的な実施形態の態様、利点、および／または他の特徴は、本発明の様々な非限定的な実施形態を開示する以下の詳細な説明に照らして明らかになるであろう。例示的な実施形態を説明する際に、明確にするために特定の用語が使用される。しかしながら、実施形態は、この特定の用語に限定されることを意図するものではない。各特定の部分は、同様の目的を達成するために同様の方法で動作するすべての技術的同等物を含むことを理解されたい。

50

【 0 0 6 6 】

例示的な実施形態は、多くの異なる目的に適用することができ、本明細書に記載の特定の例示的な目的に限定されることを意図するものではない。当業者は、例えば、適用する実施形態の意図した使用に応じて、本開示の例示のみの実施形態を適用することができるであろう。さらに、以下に示す、関連する例および限定は、例示を意図するものであり、排他的ではない。関連技術の他の限定は、以下の明細書を読み、関連する図を検討することにより、当業者に明らかになるであろう。

【 0 0 6 7 】

本出願は、冷たい飲み物、ビール、ワイン、ミネラルウォーターなどの液体を封入する飲料容器などの複数の製品を保持するための、1つまたは複数の二次パッケージと共に使用するための持ち運び用ハンドルアセンブリを開示する。持ち運び用のハンドルは、ユーザーが持ちやすく、二次パッケージの重い荷物を壊さずに運ぶのに十分な強度がある。本発明の実施形態は、飲料産業で使用される、サイズ、形状、および材料に関係なく、様々なタイプのパッケージと組み合わせて適用され得ることを理解されるべきである。さらに、本発明は、本発明の範囲から逸脱することなく、1つまたは複数のパッケージ、単一のパッケージにまとめられた製品の取り扱いを容易にするために、他の任意の産業で適用することができる。本明細書および添付の特許請求の範囲で使用されるように、単数形「a」、「an」および「the」は、文脈上明確に別段の指定がない限り、複数の指示対象を含むことにも留意されたい。したがって、例えば、「開口部」という用語は、単一の開口部または開口部の組み合わせを意味することを意図し、「側壁」は、1つまたは複数の側壁、またはそれらの組み合わせを意味することを意図する。

【 0 0 6 8 】

図1は、本開示のハンドルアセンブリの基本的な構成要素を示す概略図を示す。図1に示されるように、本開示は、飲料容器、食品、家庭用品などの複数の製品を保持する1つまたは複数の二次パッケージ（図示せず）と共に使用するためのハンドルアセンブリ100を提供する。ハンドルアセンブリ100は、ベース部110を含む。ベース部110は、その上面113上に形成された、近位端 E_p に第1のハンドルポケット112を含み、遠位端 E_d の第2のハンドルポケット114に向かって延びる。第1のハンドルポケット112および第2のハンドルポケット114はそれぞれ、凹部115を含む。ハンドルアセンブリ100は、近位端 E_p における第1の包囲部124と、遠位端における第2の包囲部126との間に延びる把持部122を有するハンドル120をさらに含む。包囲部124、126はそれぞれ、少なくとも1つの凹部115内でスライド可能かつロック可能に収容可能であり、包囲部124、126のそれぞれが、対応するポケット112、114内でスライドして自由状態 S_F とロック状態 S_L 間を移動可能である。使用時、ユーザーがハンドル120を持ち上げると、把持部122が上方に持ち上げられ、包囲部124および126のそれぞれが、対応するポケット112、114内のロック状態 S_L の位置に向かってスライドして外に伸び、ユーザーに加えられた力が、包囲部124、126、ポケット112、114、およびベース部110の間で分担される。ユーザーがハンドル120を解放すると、把持部122は引き戻され、包囲部124および126は、対応するポケット112、114内の自由状態 S_F までスライドして戻る。

【 0 0 6 9 】

本開示120のハンドルアセンブリ100は、全体的に、マルチパックとして、または一緒にパックされた製品群として、複数の製品を保持する二次パッケージ内に取り付けられる。

【 0 0 7 0 】

以下の図2および図3の説明において、概略的なシステムに共通の要素は、特に明記されていない限り、同じ符号を有する。第1の実施形態では、図2aおよび図2bに示すように、ハンドルアセンブリ200を使用する二次パッケージ280が提供されている。好ましい実施形態では、二次パッケージ280は、上壁283と底壁284との間に延在する複数の側壁282を有し、その中に内面285を形成するカートン281を含む。カー

トン 281 は、複数の壁 282 のうちの 1 つまたは複数の内部に形成された 1 つまたは複数のハンドル開口部 286 をさらに含む。ハンドルアセンブリ 200 は、全体的に、ハンドル開口部 286 を通して視覚的にアクセス可能であるように、内面 285 内に収容され、配置されている。したがって、ハンドル開口部 286 は、概して、ハンドルアセンブリ 200 の寸法に概ね依存する長さ L_H を有する細長い溝部である。しかしながら、本発明の他の実施形態では、ハンドル開口部 286 は、ハンドルアセンブリ 200 へのアクセスを提供するのに適した任意の所望の形状にすることができ、また、後述するように、それに関連する設計制約にも依存し得る。

【0071】

好ましい実施形態では、カートン 281 は、全体的に、複数のほぼ円筒形の飲料容器を保持するための折り畳まれたブランク（図示せず）から形成される。さらに、カートン 281 の高さを含む形状およびサイズは、その用途の設計上の制約および要件に応じて変更することができる。例えば、281 が 3×4 の配置で 1 つの層に 12 個の容器を収容する場合において、カートンはそれに応じた寸法である。さらに、他の例では、カートンは、単一の層、複数の層、および / または異なる行 / 列の配置（例えば、 1×6 、 3×6 、 2×6 、 4×6 、 $2 \times 3 \times 4$ 、 $2 \times 6 \times 2$ 、 2×9 、 3×5 、 $3 \times 5 \times 2$ など）で異なるまたは同じ量の容器を保持するようなサイズおよび形状であってもよい。

【0072】

二次パッケージ 280 は、例示的な実施形態としてカートン 281 の形態で示されてきたが、二次パッケージ 280 は、様々な異なる形状の容器、球形ホルダー、円形ボックスなど任意の所望の形状で形成されてもよく、すべての種類の紙、ファイバーボード、段ボール、プラスチック、ハイブリッド材料、またはそれらの任意の組み合わせを含むなど、任意の所望の材料からつくられたものであってもよい。同様に、異なる製品を保持する場合、カートン 281 は、対応する製品のサイズおよび寸法要件に応じたサイズおよび寸法となる。

【0073】

ハンドルアセンブリ 200 は、上面 213 および下面 275 を有する、図 4 に示されるベース部 210 を含む。ベース部 210 は、ベース部 210 の上面 213 上に形成された、近位端 E_p に第 1 のハンドルポケット 212 を含み、遠位端 E_d の第 2 のハンドルポケット 214 に向かって延びる。ベース部 210 は、ハンドルアセンブリ 200 の底部支持体として機能する、全体的に細長い材料片である。好ましい実施形態では、ベース部 210 は、限定するわけではないが、すべての種類の紙、ファイバーボード、段ボール、任意の種類のプラスチック材料、ハイブリッド材料などのうちの 1 つまたは複数から選択される単層または多層の細長い材料片から形成される。しかしながら、他の実施形態では、ベース部 210 は、限定されるわけではないが、折り畳まれたブランク、すべての種類の紙、ファイバーボード、段ボール、任意の種類のプラスチック材料、ハイブリッド材料などの 1 つまたは複数から選択される材料で形成されたカートン、ハウジングなどの多層構造であってもよい。上記構成のベース部 210 は、ハンドル開口部 286 の長手方向において長さ L_B を有し、概して開口部の長さ L_H よりも長い。

【0074】

第 1 のハンドルポケット 212 および第 2 のハンドルポケット 214 は、最初に別々に形成される。形成は、材料片をその 2 つの端部から折り畳み、次いで端部の少なくとも一方が他方とほぼ重なり、凹部 215 がポケット 212、214 のそれぞれの中に形成されるように接着することによって行われる。その後、第 1 のハンドルポケット 212 および第 2 のハンドルポケット 214 は、1 つまたは複数の固定機構（図示せず）を使用して、互いに間隔 D_p をとってベース部 210 の上面 213 に固定される。かかるすべての実施形態において、ハンドルポケット 212、214 はそれぞれ、任意の種類の紙、ファイバーボード、段ボール、プラスチック、または任意のハイブリッド材料、および / またはそれらの任意の組み合わせの単層または多層構造から選択される材料であって、本発明の範囲を逸脱することがない用途に適した材料から形成されてもよい。さらに、1 つまたは複

数の固定機構は、限定されるわけではないが、接着、保持タブ、ステーブル、リベット、ボタンベースの固定機構、および／または当技術分野で従来から知られているその他の任意の既知の機械的取り付け手段のうちの１つまたは複数として選択するものであって、本発明の範囲から逸脱することがない使用に適したものであってもよい。

【００７５】

いくつかの好ましい実施形態では、第１のハンドルポケット２１２および第２のハンドルポケット２１４はそれぞれ、ベース部２１０内に一体に形成される。同形成は、最初にベース部２１０内において２つのフラップを切り出し、フラップの少なくとも一方が他方とほぼ重なり、凹部２１５がポケット２１２、２１４のそれぞれの中に形成されるように、折り畳んで接着することによって行われる。そのような実施形態は、単一片であり、ベース部２１０、およびポケット２１２、２１４は、はるかに高い強度と二次パッケージ２８０を支持する能力を付与する。さらに、２つのフラップをオフセットで接着することもできる。例えば、一方のフラップは、消費者が把持部を引っ張ると、ハンドルが２つの接触点、つまり第１のポケットフラップと第２のポケットフラップとでポケットに接触するように、小さなオフセット（例えば、数ミリメートル）で他方のフラップと重なる。これにより、破れや破断のリスクを小さくできる。ポケット２１２、２１４は、設計上の制約に応じて、そしてそれがベース部２１０およびカートン２８１に関連してハンドルアセンブリ２００に適切な強度を提供するように、任意の所望の形状に形成および／または構成されてもよい。かかる実施形態では、凹部２１５は、Ｖ字形の先端を示す内側開口部２１５ａと、Ｖ字形の広い端部に対応する外側開口部２１５ｂとを含む。さらに、好ましい実施形態では、間隔 D_p は、概して、ハンドル開口部２８６の長さ L_H よりも長く、ベース部２１０の長さ L_B よりも小さい間隔である。

10

20

【００７６】

ハンドルアセンブリ２００は、ハンドル２２０をさらに含む。図５に示されるように、ハンドル２２０は、近位端 E_p における第１の包囲部２２４と遠位端 E_d における第２の包囲部２２６との間の長さ L_G を有する把持部２２２を含む。本発明のいくつかの実施形態では、把持部１２２は、ユーザーが把持しやすい形状を有する。例えば、場合によっては、把持部２２２は、その上に形成されたつまみを含んでいてもよい。一方、他の例では、把持部１２２は、ユーザーによるその取り扱いおよび／または保持を容易にする任意の他の形状を含んでいてもよい。

30

【００７７】

ハンドルの包囲部２２４、２２６は、概して、ハンドルポケット２１２、２１４と相補的な形状および寸法であり、対応するポケット２１２、２１４の１つに挿入されたときに、包囲部１２４、１２６のそれぞれが、対応する凹部１１５内で、自由状態 S_F （図２ａに示されている）とロック状態 S_L （図２ｂに示されている）との間でスライド可能かつロック可能に移動できる。したがって、包囲部２２４、２２６のそれぞれは、対応するハンドルポケット２１２、２１４の最小幅よりも小さい最小幅を有する。さらに、包囲部２２４、２２６のそれぞれは、対応するハンドルポケット２１２、２１４の最大幅よりも小さい最大幅を有する。さらに、ポケット２１２、２１４のそれぞれが全体的にＶ字型である好ましい実施形態において、ポケット２１２、２１４は、他方のポケットに対向する方向の内側開口部２１５ａで最小 W_{MI} 幅を有し、内側開口部と反対の方向の外側開口部２１５ｂで最大幅 W_{MA} を有する。したがって、そのような場合、包囲部２２４、２２６は、内側開口部２１５ａの縁部でそのロック状態に達し、内側開口部２１５ａの縁部から離れた状態で自由状態に達する。さらに好ましくは、かかる実施形態では、包囲部２２４、２２６のそれぞれは、凹部２１５内の空間全体をほぼ覆うように寸法が決められる。

40

【００７８】

さらに他の実施形態では、包囲部２２４、２２６は、限定されるわけでないが、砂時計形状、円形、Ｖ形状など、本開示に従って所望される任意の他の可能な形状を有し得る。

【００７９】

さらに別の実施形態では、ハンドルアセンブリ２００は、所定の位置を超える包囲部２

50

24、226をベース部210上にロックする、好ましくはポケット212、214内にロックするための1つまたは複数のロックアセンブリ(図示せず)を含む。かかる実施形態は、ハンドルポケット212、214の形状により、その中にある対応する包囲部224、226が実質的にしっかりとロックされない実施形態に特に適している。しかしながら、いくつかの他の実施形態では、ロックアセンブリは、ポケット内でのクランプに加えて、追加のロック機構を提供するようにしてもよい。本発明の好ましい実施形態では、ロックアセンブリは、カットしたフックベースのロック機構を含む。かかる実施形態では、包囲部のそれぞれは、その1つまたは複数の縁部に切り欠きを含む。さらに、かかる実施形態では、ベース部210は、包囲部224、226内に、切り欠きと相補的であり、切り欠きと係合したときに包囲部224、226をロックして保持する1つまたは複数のフックを含む。かかる実施形態では、場合によっては、1つまたは複数のフックが、ハンドルポケット212、214内に配置されている。しかしながら、他のいくつかの例では、1つまたは複数のフックは、ハンドルポケット212、214の外の任意の位置に配置され、たとえば包囲部224、226が偶然または重さによりポケット212、214から滑り出たとしても、所定の位置でポケットの外に形成された1つまたは複数のフック内にロックされ、ベース部210上の所定の位置を超えて包囲部がスライドすることを回避するようにしてもよい。さらに、他のいくつかの例では、ポケットは特定のフックを持たず、その場合、包囲部の切り欠きはポケット自体の縁部にロックされる。したがって、かかるロックアセンブリにより、ポケットの縁部への圧力を低減しやすくなり、その圧力をベース部210とさらに分担する。別の実施形態では、ロックアセンブリは、当該技術分野で既に知られており、本発明の範囲から逸脱することなく使用に適した任意のロック機構であってもよい。

10

20

【0080】

使用時、先に開示したように、ハンドルアセンブリ200は、ハンドル220の把持部222がハンドル開口部286を通して視覚的にアクセス可能であるように内面295内に配置されている。いくつかの実施形態では、ハンドルアセンブリは、ベース部210が内側からハンドル開口部286と重なるように、ハンドル開口部286を含む壁282の内面(図示せず)に取り付けられ、ハンドルポケット212、214は、ハンドル開口部286の縁部に外れて位置し、把持部222はハンドル開口部286を通して視覚的にアクセス可能である。一実施形態では、ハンドルアセンブリ200は、1つまたは複数の固定機構を使用して、ポケット212、214で壁282の内面に固定されている。他の実施形態では、ハンドルアセンブリ200は、1つまたは複数の固定機構を使用して、ベース部210で壁282の内面に取り付けられている。さらに他の実施形態では、ハンドルアセンブリ200は、内壁282に固定されておらず、カートン281内に格納されている製品の一部に支持されている。

30

【0081】

第1実施形態の変形において、図3aおよび図3bに示されるように、二次パッケージ280内に配置されたハンドルアセンブリ200は、ベース部210を含まないという点で第1実施形態とは異なる。かかる実施形態では、ハンドルアセンブリ200は、その各縁部に外れて、ハンドル開口部286を有する壁282の内面に取り付けられる第1のポケット212および第2のポケット210を含む。さらに、ハンドル220の包囲部224、226のそれぞれは、ハンドルポケット212、214の少なくとも1つ中でスライド可能に収容され、自由状態 S_F (図3aに示される)とロック状態 S_L (図3bに示される)との間で移動可能である。この実施形態の変形例は、二次パッケージ280が軽量の製品を保持する用途での使用に特に好ましい。かかる実施形態は、ベース部210がないために必要な材料がさらに少なく、ハンドルアセンブリ200のコストをさらに削減する。

40

【0082】

図2および図3は、本開示のハンドルアセンブリ200を使用する二次パッケージ280の基本構成要素の配置を概略的に示す。しかしながら、商用的機能的ユニットの構造に

50

において、カブラー、コネクタ、支持構造、およびパッケージングの分野、特にパッケージングの取り扱いの分野の当業者に知られている他の機能的コンポーネントなどの二次コンポーネントを二次パッケージ 280 内に組み込むことができる。かかる商業的構成は、本明細書に開示される構造的構成要素および配置が存在する限り、本発明に含まれる。

【0083】

包囲部 224、226 を含むハンドル 220、および把持部 122 は、限定されるわけではないが、すべての種類の紙、板紙、ファイバーボード、ボール紙、カートンボード、ボード、段ボール、プラスチック、および/または任意のハイブリッド材料および/またはそれらの組み合わせから形成される単層または多層構造のうちの 1 つまたは複数から選択される任意の材料でつくることができる。

【0084】

いくつかの実施形態では、ハンドル 220 は、限定されるわけではないが、次のものの 1 つ以上から選択される実質的な弾性材料からつくることが可能である。ポリエチレン、特に低密度ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、特にポリアルキレンテレフタレートなどのグループなどのエラストマー材料のうちの 1 つ以上から選択されるエラストマー伸縮性材料。前記エラストマーフィルムのパリマーから選択される 1 つ以上のポリマーは、次のグループから選択される。ポリ(エチレン-ブテン)、ポリ(エチレン-ヘキセン)、ポリ(エチレン-オクテン)、ポリ(エチレン-プロピレン)、ポリ(スチレン-ブタジエン-スチレン)、ポリ(スチレン-イソブレン-スチレン)、ポリ(スチレン-エチレン-ブチレン-スチレン)、ポリ(エステル-エーテル)、ポリ(エーテル-アミド)、ポリ(エチレン-ビニルアセテート)、ポリ(エチレン-メチルアクリレート)、ポリ(エチレン-アクリル酸)、ポリ(エチレンブチルアクリレート)、ポリウレタン、ポリ(エチレン-プロピレン-ジエン)、およびエチレン-プロピレンゴム、EPM(エチレンプロピレンゴム、エチレンとプロピレンの共重合体)およびEPDMゴム(エチレンプロピレンジエンゴム、エチレン、プロピレン、およびジエン成分のターポリマー)、エピクロロヒドリンゴム(ECO)、ポリアクリルゴム(ACM、ABR)、シリコンゴム(SI、Q、VMQ)、フルオロシリコンゴム(FVMQ)、フッ素エラストマー(FKM、およびFEPM)バイトン、テクノフロン、フルオレル、アフラス、ダイエル。ハンドル 220 のかかる弾性により、包囲部がポケット内にロックされている場合、ハンドルを少なくとも一方向に、好ましくは 2 つ以上の方向に伸ばすことができる。さらに、弾性により、引っ張り力が除去されたときに把持部を元の寸法に即座に引き戻す機能を有する。好ましくは、かかる実施形態におけるハンドル 220 は、5%から20%の範囲の伸長性を有する。伸長性は、好ましくは、5%から約15%の範囲である。そのような伸長性により、ハンドル 220 はわずかに伸長させることが可能であると共に、好ましくは、非常に大きな荷重が付加されたときにハンドル 220 が破損する可能性を除くことが望ましい。

【0085】

いくつかの他の実施形態では、把持部 222 および包囲部 224 および 226 を含むハンドル 220 は、その上にコーティングおよび/またはラミネートされた防水材料の層をさらに含むことによって、雨の季節や、ハンドル 220 が水/液体などと接触するような条件下において、ハンドルアセンブリ 200 を利用しやすくするようにしてもよい。

【0086】

図 2 および図 3 に示すように、カートン 281 は、本開示の好ましい実施形態において、上壁 283 上に形成されたハンドル開口部 286 を有する例示的な立方体のカートンである。しかしながら、他の実施形態では、カートン 281 は、本発明の範囲から逸脱することのない程度において、任意の他の形状であってもよく、任意の数の側壁および/または任意の壁上にハンドル開口部 286 を有してもよい。1 つの代替実施形態では、カートン 281 は、細長いハンドル開口部 286 を有する円形の壁を有するほぼ円筒形である。そのような実施形態では、ハンドルアセンブリ 200 のベース部 210 は、全体的に、ベース部 210 がカートン 281 の丸い壁と一致するように、予圧された線を横切って曲が

10

20

30

40

50

るようになっている。さらに、ベース部 210 は、ハンドル 220 の把持部 222 がハンドル開口部 286 を通して視覚的にアクセス可能であるように、壁に接着されている。

【0087】

図 8 は、ハンドルアセンブリ 800 を開示する追加の例示的な実施形態を示す。ハンドルアセンブリ 800 は、上面 813 および下面 875 を有するベース部 810 を含む。ベース部 810 は、ベース部 810 の上面 813 上に形成された、近位端 E_p に配置された凹部 815 を有する第 1 のハンドルポケット 212 を含む。第 1 のハンドルポケット 812 は、別個に製造され、ベース部に接着されたポケットであってもよいし、先に開示されたようにベース部 810 内に一体的に形成されてもよい。

【0088】

ハンドルアセンブリ 800 は、近位端 E_p の第 1 の包囲部 824 と遠位端 E_d の第 2 の包囲部 826 との間に延びる把持部 822 を有するハンドル 820 をさらに含む。

【0089】

包囲部 824 は、ハンドルポケット 812 と相補的な形状および寸法を有し、ハンドルポケット 812 に挿入されると、凹部 815 内において自由状態 S_F とロック状態 S_L との間でスライド可能かつロック可能に移動可能である。固定部 826 は、遠位端 E_d でベース部 810 の上面 813 に固定的に接着されているため、ベース部 810 に対して動くことができない。

【0090】

したがって、そのような実施形態では、ユーザーがハンドル 820 を持ち上げると、把持部 822 が上方に持ち上げられ、その結果、包囲部 824 は、ロック状態 S_L にある位置に向かってスライドして伸びるが、固定部 826 はベース部 810 に固定されたままである。したがって、ユーザーがハンドル 820 を解放すると、把持部 822 は引き戻され、包囲部 824 は、ポケット 812 内において自由状態 S_F にスライドして戻る。

【0091】

本発明は、任意の端部でポケットの任意の組み合わせを使用して実施することができると考えられる。さらに、図 8 の実施形態内に開示されるように、固定的に取り付けられていない場合、包囲部のそれぞれの動きは、ポケットおよび / または包囲部の形状を変えることによって、または既述したように、1 つまたは複数のロック機構を使用することによって、ベース部 810 上の所定の範囲および / または位置に制限することができる。

【0092】

図 1 から図 5 を参照する図 6 は、本開示のハンドルアセンブリ 200 を組み立てる方法 600 を示す流れ図である。この方法は、ステップ 602 で始まり、ステップ 604 に進み、ベース部 210 は、2 つの離間したハンドルポケット 212、214 を形成される。一実施形態では、ハンドルポケット 212、214 は、材料片を折り畳み、それを接着することによって形成することができる。別の実施形態では、2 つの離間したポケット 212、214 は、ベース部 210 内で、互いから所定の間隔 D_p をとった 2 対のフラップを切り出すことによって形成することができる。その後、フラップの対はそれぞれ、ほぼ重なり合うようにして一緒に折り畳まれ、フラップの対のそれぞれを利用してハンドルポケットを形成する。第 1 のポケット 212 および第 2 のポケット 214 がベース部 210 の上面 213 上に形成 / 固定されると、方法はステップ 606 に進み、そこでハンドル 220 がベース部 210 に収容される。ステップ 606 は、ハンドル 220 の包囲部 224、226 のそれぞれを、第 1 のポケット 212 および第 2 のポケット 210 の少なくとも 1 つ内にスライドさせて収容することをさらに含み、その結果、包囲部 224、226 のそれぞれは、対応するハンドルポケット 212、214 内でスライドおよびロック可能にクランプされる。凹部 215 の内側開口部 215a が、包囲部 224、226 の最大幅よりも小さい幅を有する本実施形態の一形態では、包囲部 224、226 のそれぞれは、凹部 215 に強制的にスライドされる。さらに、いくつかの実施形態では、そのような場合、包囲部 224、226 は、一時的に折り畳まれ、対応する凹部 215 内に収容されることにより、包囲部 224、226 は、対応するポケット 212、214 内に収容されたとき

10

20

30

40

50

、広げられて内部でクランプされてもよい。包囲部 224、226 の両方が対応するハンドルポケット 212、214 内においてスライド可能にロックされると、ハンドルアセンブリ 200 は、1 つまたは複数のパッケージ / 容器と共に使用され、その取り扱い / 把持 / 持ち上げを容易にする。本発明のいくつかの実施形態では、各端部で、ポケットを形成するための材料片上に包囲部 224、226 を収容するステップ 606 は、その後、ステップ 604 内に開示された材料を折り畳みおよび接着することによって、ポケット 212、214 をその周りに形成する。本発明のさらに他の実施形態では、方法 600 の各ステップは、任意の所望の順序で、順次および / または同時に実行され得る。

【0093】

図 7 は、本開示のハンドルアセンブリ 200 を使用して二次パッケージ 280 を組み立てる方法 700 を示している。この方法は、ステップ 702 で始まり、ステップ 704 に進み、カートン 281 が取得されおよび / または形成され、カートン 281 は、複数の壁 282 の 1 つに形成された 1 つまたは複数のハンドル開口部 286 を有する。次に方法 700 はステップ 706 に進み、ここで、例えば、飲料容器などの複数の製品が、カートン 281 の内面 295 内に配置され、所定の行および列構成で配置される。その後、ステップ 708 で、ハンドルアセンブリ 200 は、把持部 222 がハンドル開口部 / 細長い溝部 286 を通してアクセス可能であるように、カートン 281 の内面 295 内に配置される。一実施形態では、ハンドルアセンブリ 200 は、すでに開示されている 1 つ以上の固定機構を使用して、カートン壁 282 の内面に固定することができる。他の実施形態では、ハンドルアセンブリ 200 は、カートン 281 内に配置された製品の上に単に配置されてもよい。そのような実施形態は、カートン 281 内に格納された製品がカートン 281 のかなりの高さを占め、把持部 222 が、ハンドル開口部 286 を通してユーザーによって把持されようアクセス可能である場合に特に実現可能である。使用時、二次パッケージ 280 は、把持部 222 をハンドル開口部 286 から外に伸ばすことによって持ち上げられ、包囲部 224、226 のそれぞれが自由状態 S_F からロック状態 S_L になるまで伸ばされることにより、ロック状態では、包囲部 224、226、ポケット 212、214、およびベース部 210 は、ユーザーによって加えられた力の負担を分担する。示されるように、上記開示した方法では、二次パッケージ 280 がまず形成され、複数の製品が充填され、その後、ハンドルアセンブリ 200 が、ハンドル開口部を有する壁内に取り付けられる。しかしながら、本発明のいくつかの実施形態では、ハンドルアセンブリ 200 は、最初にステップ 708 に開示されるような方法を使用して、二次パッケージ 280 内に組み立てられる。その後、二次パッケージ 280 は、必要に応じて所望の複数の製品が充填される。

【0094】

本発明のさらに他の実施形態では、方法 700 の各ステップは、任意の所望の順序で、順次および / または同時に実行され得る。

【産業上の利用可能性】

【0095】

本開示は、食品、家庭用品、その他まとめて包装される製品群などの様々な製品を封入して安全に運ぶ二次パッケージ 280 の取り扱いを容易にするために、ベース部に形成された 2 つの離間したハンドルポケットから形成され、ハンドル 220 を有するハンドルアセンブリ 200 に関する。主に、二次パッケージは、ビール、ワイン、シードル、ハードリキュール（例、蒸留飲料、スピリッツ、リキュール、ハードアルコールなど）、ソフトドリンク（例、コーラ、ソーダ、ポップ、トニック、炭酸水）、アイスティー、ソーダ水、その他の種類の炭酸 / 非炭酸飲料などの液体容器を保持するのに利用される。ハンドルアセンブリ 200 は、費用効果が高く、持ち運び可能でありながら、小売消費者または小売業者によって非常に迅速かつ容易に組み立てられ、任意の形状、サイズ、または任意の種類の構成のパッケージを容易かつ快適に出荷、取り扱い、および輸送すること可能にする。二次パッケージ 280 は、主に飲料容器を保持および運搬するものとして説明されているが、本開示の二次パッケージ 280 は、飲料業界に限定されることなく、あらゆる種

類の製品または製品グループ、あらゆる形状、サイズ、またはさまざまな構成の輸送において、食品産業、輸送産業、家電などの様々な産業で実施されることができる。

【 0 0 9 6 】

理解されるように、二次パッケージ用のかかるハンドル 4 0 0 の実現によって、最終消費者が、複数の製品が格納されたカートンを安全に、容易にそして快適に持ち上げて運ぶことを可能にする。さらに、複数のポケットでロックされているハンドルと、カートン内に格納される製品上に支持されるベース部は、カートン内に非常に強い荷重がかかっても損壊しない。概して、ハンドルを支持するためのベース部の存在により、運搬や輸送中に、大きい荷重がハンドルを有する壁の材料に影響を与えないように促進することができる。さらに、ポケットを含むベース部およびハンドルは多層構造であってもよいため、それによりハンドルアセンブリの強度をさらに高め、非常に柔らかく安価な品質の板紙、ボール紙などのカートンをつくることができる。さらに、本開示のハンドルアセンブリのハンドルは、使用されていないときにカートン内に格納されるため、輸送中に積み重ねられるパッケージを容易に積み重ねることが可能であり、したがって、輸送中の順応性や効率性を向上させる。

10

【 0 0 9 7 】

本開示の可撓性ハンドル 2 0 0 は、本開示の二次パッケージ 2 8 0 を参照して開示されているが、独立した支持ユニットとしても使用できる。さらに、ハンドルアセンブリは、折り畳み可能なブランクから形成された様々なカートン、ならびに布、織物、不織布、鉄または非鉄金属を含み得る織成の金属布などの材料や、その他適した材料で形成されたカートンを含む、当該技術分野で知られている様々な適切な容器と組み合わせることができる。そのような実施形態においても、本開示のハンドルアセンブリ 2 0 0 は、本開示の範囲を逸脱することなく、二次パッケージ 2 8 0 を安全に運ぶために使用され得る。

20

【 0 0 9 8 】

さらに、現在例示されている例示的な二次パッケージは、壁の 1 つから外に伸びる把持部を有する単一のハンドルを開示しているが、上壁および下壁を含む二次パッケージの任意の壁上の任意の数のハンドルが、本開示の範囲から逸脱することなく、設計上の制約に従って実現され得る。

【図 1】

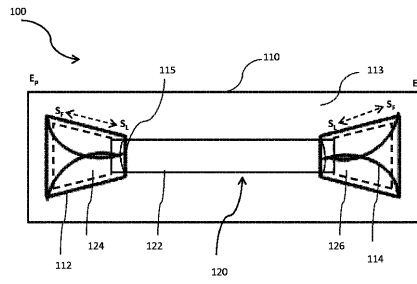


Fig. 1

【図 2 a】

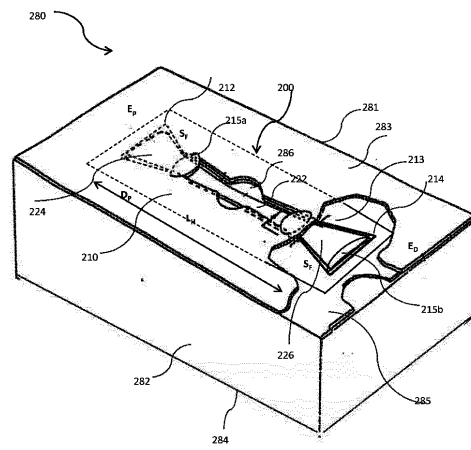


Fig. 2a

【図 2 b】

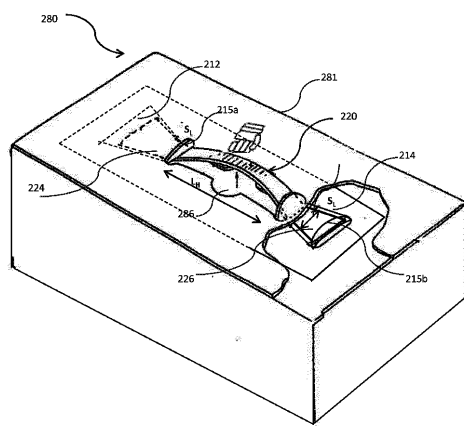


Fig. 2b

【図 3 a】

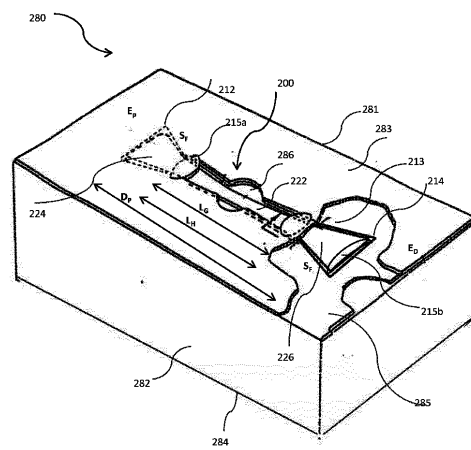


Fig. 3a

【図 3 b】

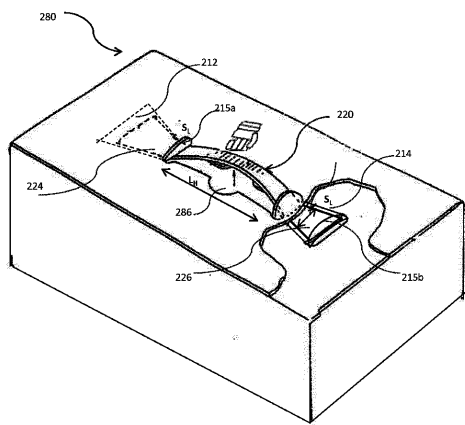


Fig. 3b

【図 4】

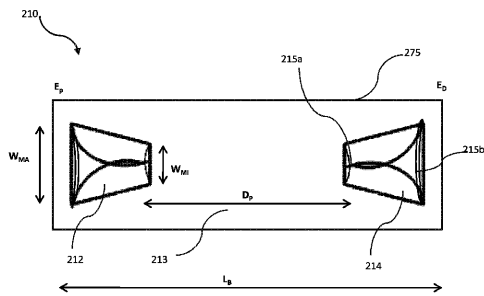


Fig. 4

【図 5】

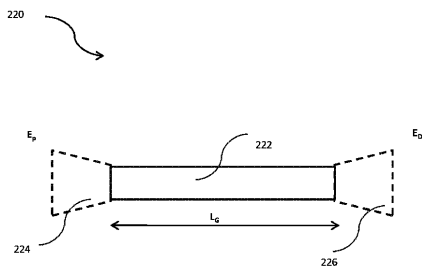
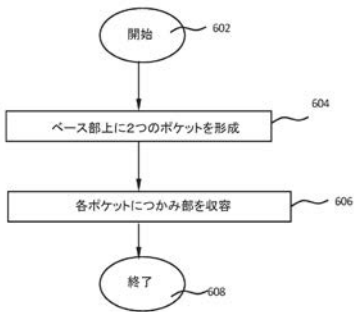


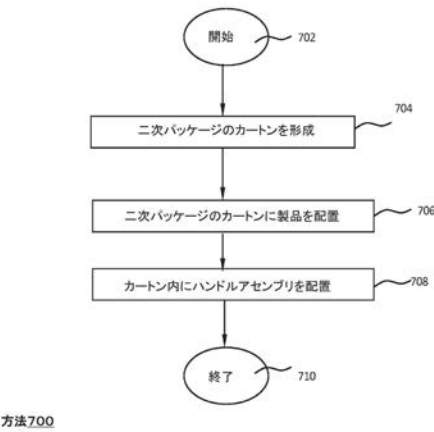
Fig. 5

【図 6】



方法600

【 図 7 】



【 図 8 】

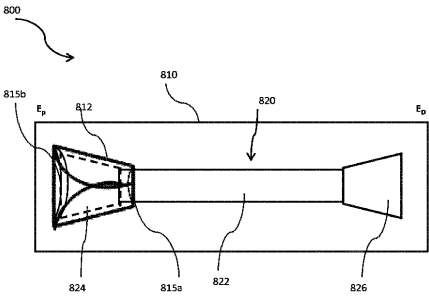
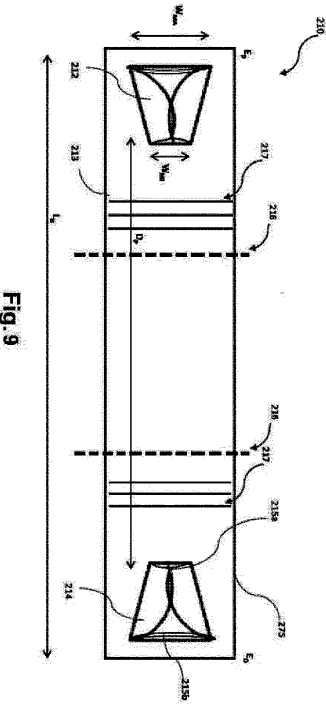


Fig. 8

【 図 9 】



【 国際調査報告 】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/EP2019/065915

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

INV. B65D71/12 B65D5/46 B65D71/00
ADD.

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B65D

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

EPO-Internal, WPI Data

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	DE 12 86 714 B (RHEINISCHE STANZ & PRESSFORM) 9 January 1969 (1969-01-09)	1-12, 14-16
Y	column 2, lines 8-57; figures	13
Y	DE 203 05 535 U1 (KRUEGER MATHIAS [DE]) 28 August 2003 (2003-08-28)	13
A	the whole document	1-12, 14-16
A	WO 2012/142559 A1 (MEADWESTVACO PACKAGING SYSTEMS [US]; GARNIER JEAN-MICHEL [FR]) 18 October 2012 (2012-10-18) abstract; figures	1,4-9
A	FR 850 391 A (THIOLAT FRERES ETS) 15 December 1939 (1939-12-15) page 1, line 28 - page 2, line 9; figures	1-16

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☒ See patent family annex.

* Special categories of cited documents :

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"Z" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

11 July 2019

Date of mailing of the international search report

19/07/2019

Name and mailing address of the ISA/

European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2
NL - 2280 HV Rijswijk
Tel: (+31-70) 340-2040,
Fax: (+31-70) 340-3016

Authorized officer

Zanghi, Amedeo

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No

PCT/EP2019/065915

Patent document cited in search report		Publication date	Patent family member(s)	Publication date
DE 1286714	B	09-01-1969	NONE	

DE 20305535	U1	28-08-2003	NONE	

WO 2012142559	A1	18-10-2012	CN 103764505 A	30-04-2014
			WO 2012142559 A1	18-10-2012

FR 850391	A	15-12-1939	NONE	

フロントページの続き

(81)指定国・地域 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JO, JP, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT

(72)発明者 ウィム ディコクカー

ベルギー, 3 0 0 0 ルーヴェン, ブローウェレイプラン 1

Fターム(参考) 3E060 AA03 CA01 CA13 CA34 CA42 DA09 EA13

3E067 AA11 AB01 AB79 AC03 BA01A BB01A BB02A BB11A BB15A BB16A

BB25A CA07 EE13